

南風

No. 3

R7. 9. 6

総体から

～各部活よりいただいた感想より～

春季大会は延長戦の上引き分けに終わり、今回はどうなるものかと、子供たちというよりは親たちが前々から緊張して臨んだ市郡中総体。終わってみれば3-0の快勝で優勝することができて、ひとまず安堵しているところです。春季大会から短期間でここまで戦えるようになったのは、日頃の練習やリーグ戦の経験の賜物だと思います。改めて先生方やコーチには感謝の思いです。子供たちは技術面の向上はもちろんのこと、何よりもチームとしてのまとまりがとても良くなり、歯車が噛み合って結果に結びついたのだと思っています。県大会ではどこのチームと当たっても、自分たちが納得できる内容の戦いをして、一つでも上に行けるように頑張してほしいです。

サッカー部



6月15日、能代市陸上競技場にて、陸上競技の市郡総体が行われました。早いもので、3年生は最後の市郡総体でした。個人競技であるがゆえ、それぞれが目標をもち、この日を迎えた事と思います。全体での目標は、男女総合優勝。皆が優勝に向け、少しでも多く加点される努力をしてきたんだと感じた1日でした。皆の力で勝ち取った総合優勝。課題はあるにしろ、誰かのために頑張る。という事を学び、大きく成長できたのではないかな？と思いました。7月に行われる通信大会、県総体まで気を抜けません。最後まで思い切り、やり残す事なく頑張ってくださいと思います。

陸上部

三年生最後の大会を、親子共に楽しむことができました。県大会出場は果たせませんでしたが、粘り強くプレーする子供達の姿を見て、胸が熱くなりました。

バレーボール部



中央地区大会は目指していた金賞、全県大会では銅賞という結果でしたが、大会では音楽の奥深さと美しさを改めて感じさせてくれるものでした。音楽はスポーツなどとは違い、大会はミスをしてしまうと前には戻ることはできず、ミスの後にどんなに良い演奏をしても、ミスはなかったことにできません。本当に一瞬一瞬が一回きりの真剣勝負です。

《輝音響音～彩協の輝きをここに～》性格や好みも違う数十人一人ひとりが、真剣に楽器に向き合い、先生の指揮の合図で音を出し、それぞれの楽器の音色が見事に調和し、全員で一つの作品を作り上げた演奏。音楽は聴いてくれる人がいて初めて完成するものだと思います。舞台上で演奏する生徒の姿を見ながら、練習に多くの時間を費やし、技術を身につけ、努力を重ねてきたことが伝わってきたとても感動的な大会でした。

ご指導してくださった顧問の山田先生、杉本先生、日頃からご協力頂いている保護者の皆様、応援に駆けつけてくださった先生方へ心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

吹奏楽部

全県優勝！東北大会、全中出場！という大きな目標を掲げ練習を重ねてきました。市郡中総体優勝、勢いをつけ出場した全県中総体、初戦敗退となりましたが、選手達の戦いに一喜一憂し、最後は涙を流しながら見守りました。目標は達成できませんでしたが、振り返ると仲間達と切磋琢磨し、立ち向かった挑戦や厳しい稽古の数々が思い出されます。このメンバーで戦えて本当に良かった！そんな思いが溢れ出る部活動でした。

森内厚志先生、児玉理紗先生、外部コーチの方々、卒業した先輩たち、皆様の尽力により、選手たちは驚くほどに成長しました。３年間で経験した練習の厳しさや、試合での喜びと悔しさは、選手達にとって今後大きな財産となり、どんな困難も乗り越えてくれると思います。こうして選手たちが成長した姿を見ることができ、保護者一同心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

剣道部



春季大会のつらさ悔しさをバネにひたすら練習に打ち込んだ約一ヶ月。
ソフトテニスのソの字も無かった我が家は、練習相手もアドバイスも出来ず
送迎と叱咤激励の日々。

臨んだ中総体はベストを尽くせた良い試合が出来たと思う。

満足のいく結果ではなかったけれど

みんなの成長が感じられ、胸いっぱいの二日間だった。

この年代はラケットで打つ練習さえもままならない、練習場所もなかなか確保出来ないもどかしい思いをした子たち。漸く試合に出られたと思ったらもう引退。

もう少し試合をさせてあげたかった。がむしやらに打ち込む姿をもっと見ていたかった。

本当にあっという間だった。

真っ黒に日焼けして、良き仲間と汗や涙を拭い、思春期真っ只中を駆け抜けた時間。

何ものにも代えがたい密な青春を過ごせたことに、親子共々感謝です！

テニス部

今の三年生は、一年生の時に先輩がいない中で、主力として活動を始めました。その頃は、練習試合も公式戦もなかなか勝てず、悔しい思いをたくさんしてきました。一年がたった頃、鷺谷監督から「野球をしてくれる人はいないか」と相談を受け、そこで今の中学校の部活動の現状を知ることになりました。父母の会としても話し合いを重ね、保護者から二人のコーチをお願いし、去年の新人戦後から新体制での活動がスタートしました。冬を越した部員たちは大きく成長し、どんな試合でも互角に戦えるようになりました。そして春の大会では、この地区の絶対王者である男鹿東中を破り、見事優勝を果たしました。迎えた夏の大会では準優勝という結果で、三年生は引退となりましたが、堂々と胸を張れるチームになったことをとても誇らしく思います。こうした成果は、部員の努力に加え、学校・地域・家庭が一体となって支えてきたからこそ得られたものだと感じています。最後に、これまでご指導くださった鷺谷監督、半田部長、コーチの皆さま、努力を惜しまなかった部員たち、そしていつも温かく支えてくださった父母の会の皆さまに、心より感謝を申し上げます。子どもたちのたくさんの笑顔と楽しくしている姿を間近で見られたこと、とても嬉しく思います。また来年も楽しみです。

野球部



全県大会に向けて

天王南中学校ラグビーは近年男鹿南中学校、男鹿東中学校の3校合同チームで大会に出場しています。平日は天南のみで練習し、全体で練習出来る機会は土曜日の1回のみで、チームワークが重要なラグビーをする選手は本当に大変だったと思います。しかし、その週1回の練習を大事にしてチームワークを高めてきたみんなは他のチームにも引け劣らないくらい成長しました。3年生は最後の大会になるので、3年連続の東日本大会出場を目標に今まで監督、コーチ、先輩に教わった全てを出して、ノーサイドの笛がなるまで精一杯戦ってほしいと思います。

ラグビー部

PTA会報への寄稿へのご協力ありがとうございました。